

第4期行動計画 重点課題(案)

第3期		第4期
① 住宅の耐震化の加速化 ・住宅所有者の費用負担の軽減 ・啓発の強化 ・事業者の育成	住宅の耐震化の継続	① 住宅の安全性の確保 ・住宅耐震化に要する費用負担の軽減、補助制度の啓発 ・低コスト工法が施工できる事業者の育成 ・家具転倒防止対策の促進 など
② 地域地域での津波避難対策の実効性の確保 <u>・現地点検の加速化</u> ・避難経路を確保するための対策の実施 ・実践的な訓練の実施 ・避難行動を促す発災直後の情報提供の検討	現地点検課題整理	② 地域地域での津波避難対策の実施 ・ <u>避難経路の現地点検により明らかになった課題への対応</u> <u>(ブロック塀、老朽化住宅対策など)</u> ・実践的な訓練の実施 【新】 ・ <u>南海トラフ地震に関連する情報(臨時)への対応</u> など
③ 避難所の確保と運営体制の充実 ・避難所等の耐震化の促進 ・要配慮者の受入能力の拡大 ・広域避難の検討の具体化 ・避難所運営マニュアル作成の加速化 ・避難所の環境整備 ・避難所運営訓練の実施	要配慮者支援対策に注力 避難所対策の継続	③ 前方展開型による医療救護体制の確立 ・病院の耐震化やBCP策定などの災害対策の促進 ・地域ごとの医療救護の体制づくり ・地域をバックアップする体制づくり など
④ 地域に支援物資等を届けるためのルートの確保 陸路:道路啓開計画のバージョンアップ インフラ整備の推進 海路:港湾BCPの更新 インフラ整備の推進 空路:緊急用ヘリコプター離着陸場整備の支援 実効性の確保:建設重機と人員の確保 燃料の確保	応急活動の円滑化 県民生活の復旧	【新】 ④ 要配慮者支援対策の拡充・加速化 ・要配慮者が確実に避難できる体制の確保 ・福祉避難所の確保対策の推進 ・一般避難所における要配慮者対応体制の整備 ・透析患者や在宅酸素療法患者など、要配慮者の状態に合わせた支援体制の整備 など ※「命を守る」「命をつなぐ」「生活を立ち上げる」に基づいた対策の整理と検討が必要
⑤ 前方展開型による医療救護体制の確立 ・総力戦の体制づくり ・総力戦の人材確保 ・総力戦の場所と資機材の確保 ・医療従事者を地域に運ぶ仕組みづくり ・総合防災拠点(参集・活動拠点)の機能の維持・強化 ・国を挙げた災害医療体制の強化<政策提言>	医療救護体制の強化	⑤ 避難所の確保と運営体制の充実 ・避難所の確保対策の推進 ・非構造部材の落下防止等の安全対策の推進 ・避難所運営マニュアル作成の促進 ・避難所の環境整備の促進 など
⑥ 応急期機能配置計画の策定 <u>・全市町村で機能配置計画を策定</u> ・機能配置計画の広域調整	避難所確保対策を統合	【拡】 ⑥ 応急期から復旧・復興期を見据えた対策の拡充 ・道路啓開状況を共有するためのシステム構築 ・物資搬送体制の充実・強化 ・燃料確保対策の推進 ・ライフラインの早期復旧対策の促進 ・ <u>応急仮設住宅供給体制の確立(建設用地の確保)</u> ・ <u>災害廃棄物処理体制の確立(仮置場用地の確保)</u> など
⑦ 高知市の長期浸水区域内における確実な避難と迅速な救助・救出 <u>・津波避難シミュレーションの実施</u> ・アクションプラン策定 ・住民・市・県・応急救助機関がそれぞれの役割に基づき、具体策の推進	課題解決への取組	⑦ 高知市の長期浸水区域内における確実な避難と迅速な救助・救出 ・長期浸水対策連絡会による進捗管理 ・止水・排水対策の推進 ・救助・救出計画の策定、 <u>実効性の確保</u> ・避難場所、避難所の確保対策の推進と搬送体制の検討 など
⑧ 震災に強い人づくり ～県民への啓発の充実強化～ ・地域地域での顔の見える啓発 ・様々なメディアを活用した啓発 ・育成した人材を活用した啓発	対策をより具体化	⑧ 震災に強い人づくり ～県民への啓発の充実強化～ ・様々なメディアを活用した啓発 ・自主防災組織の活性化 ・県民や事業者の備えの充実 など
⑧ 震災に強い人づくり ～県民への啓発の充実強化～ ・地域地域での顔の見える啓発 ・様々なメディアを活用した啓発 ・育成した人材を活用した啓発	県民の防災意識の醸成	⑧ 震災に強い人づくり ～県民への啓発の充実強化～ ・様々なメディアを活用した啓発 ・自主防災組織の活性化 ・県民や事業者の備えの充実 など